

## 「広報誌に関するアンケート」総括文

広報誌に関するアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。皆様からは、広報誌の読みやすさや今後読みたい内容など、さまざまなご意見をいただきました。

アンケート結果については、町の事業・行事などの情報を広報さむかわで得ている方が 96.0%で、広報さむかわを毎月読んでいる・どちらかといえば読んでいる方は 92.6%でした。

広報誌を読む媒体は、94.4%の方が紙面と回答しており、今後広報誌をどの媒体で読もうと思うかという問いについても、83.9%の方が紙面と回答していることから、紙媒体の必要性を感じる方が多いことがうかがえました。

広報誌の配布方法や配架については、52.1%の方が「全世帯への配布のみで十分」と回答しています。

また、広報誌の読みやすさについては、「広報誌のデザイン」「文章の表現」「表紙」「ビジュアルページ」「インフォメーションのカテゴリー分け」の項目において、「どちらともいえない」が最も多い結果となりました。

自由意見では、広報誌の発行方法や記事の内容について様々なご意見、ご提案をいただきました。

広報誌の発行方法については、紙での配布を希望する声が多い一方、発行頻度やページ数、カラー印刷の必要性、必要な世帯のみの配布、ネットの活用の検討を望む声もいただきました。

記事の内容については、町内にある身近な飲食店等の紹介や、保育園・小中学校での子どもたちの活動紹介などをご提案いただきました。いただいたご提案を踏まえ、広報さむかわ 2021 年 1 月号から、町内で起こった様々な「コト」を取材し、写真と共にご紹介する連載記事「こんなコトがありました」の掲載を開始しました。

今後については、皆さまからいただいたご意見等を踏まえながら、より一層「読みたい」と思っただけのような充実した広報誌づくりと、広報誌が町と町民の皆さまとのコミュニケーションを図る媒体となるように努めてまいります。